

2021年3月期 第1四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	2020年3月期	2020年6月期	増減
連結子会社数	69社	70社	*1 +1社
持分法適用会社数	26社	26社	0社
合計	95社	96社	+1社

*1 + Premium Composite Technology North America

2. 業績概要

(注) 億円未満切捨て

(1) 経営成績

(単位: 億円)

項目	前第1四半期 (2019.4~2019.6)	当第1四半期 (2020.4~2020.6)	増減
売上高	1,650	1,361	△ 289
営業利益	73	△ 6	△ 79
金融収支	4	2	△ 2
持分法投資損益	6	0	△ 6
その他営業外損益	△ 6	△ 9	△ 2
経常利益	77	△ 12	△ 90
特別損益	△ 4	4	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	45	△ 13	△ 58
1株当たり四半期純利益	44円94銭	△13円16銭	△58円10銭
為替レート (円/\$)	109.9	107.6	△ 2.3
ナフサ価格 (円/KL)	45,500	25,300	△ 20,200
豪州炭価格 (円/t) <豪州炭(CIF)>	11,677	8,179	△ 3,498

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位: 億円)

項目	前第1四半期 (2019.4~2019.6)	当第1四半期 (2020.4~2020.6)	増減	
売上高	化学	745	525	△ 219
	建設資材	754	691	△ 62
	機械	188	167	△ 21
	その他	11	7	△ 4
	調整額	△ 49	△ 31	18
	合計	1,650	1,361	△ 289
営業利益	化学	46	△ 27	△ 74
	建設資材	23	19	△ 3
	機械	4	2	△ 2
	その他	1	0	△ 0
	調整額	△ 2	△ 1	1
	合計	73	△ 6	△ 79

(注) 営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

(2)財政状態

(単位:億円)

項目	前期末 (2020.3末)	当第1四半期末 (2020.6末)	増減
総資産	7,272	7,250	△ 22
有利子負債	1,907	2,021	114
自己資本	3,323	3,291	△ 32

(3)キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

<参考>

項目	当第1四半期 (2020.4~2020.6)	税金等調整前四半期純損失△7、減価償却費90、運転資金の増減101 他	前第1四半期 (2019.4~2019.6)
営業活動CF	181		155
投資活動CF	△ 96	有形・無形固定資産の取得△79 他	△ 102
財務活動CF	35	有利子負債の増減83、配当金の支払△47 他	△ 49

3. 通期業績予想

2020年5月13日に発表した業績予想に変更はありません。

(単位:億円)

項目	2020年3月期	2021年3月期 <予想>	増減
売上高	6,678	6,140	△ 538
営業利益	340	260	△ 80
経常利益	357	235	△ 122
特別損益	△ 53	△ 40	13
親会社株主に帰属する当期純利益	229	140	△ 89
1株当たり当期純利益	227円33銭	138円47銭	△88円86銭
年間配当金	90円	90円	—

〔参考〕連結主要指標

(単位:億円)

項目	前第1四半期 (2019.4~2019.6)	当第1四半期 (2020.4~2020.6)	2021年3月期 <予想>	2020年3月期
設備投資	56	108	470	476
減価償却費	90	90	370	368
研究開発費	32	27	140	128
事業利益	86	△ 1	290	378
有利子負債残高	1,923	2,021	1,900	1,907
自己資本	3,248	3,291	3,370	3,323
総資産	7,300	7,250	7,200	7,272
D/Eレシオ(倍)	0.59	0.61	0.56	0.57
自己資本比率(%)	44.5	45.4	46.8	45.7
売上高営業利益率(%)	4.4	△ 0.5	4.2	5.1
総資産事業利益率(%)	—	—	4.0	5.2
自己資本当期純利益率(%)	—	—	4.2	6.9
従業員数(人)	11,213	11,120	11,000	10,890



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 宇部興産株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 泉原 雅人
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 石川 博隆 TEL 03-5419-6116
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	136,108	△17.5	△664	—	△1,291	—	△1,331	—
2020年3月期第1四半期	165,058	△2.4	7,318	19.7	7,737	△24.5	4,541	△34.4

（注）包括利益 2021年3月期第1四半期 1,640百万円（△51.8%） 2020年3月期第1四半期 3,403百万円（△27.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△13.16	—
2020年3月期第1四半期	44.94	44.80

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	725,043	351,337	45.4
2020年3月期	727,269	354,447	45.7

（参考）自己資本 2021年3月期第1四半期 329,186百万円 2020年3月期 332,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期（累計）	293,000	△12.6	6,000	△64.2	4,000	△76.0	2,500	△76.8
通期	614,000	△8.1	26,000	△23.6	23,500	△34.2	14,000	△39.1

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	106,200,107株	2020年3月期	106,200,107株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,063,556株	2020年3月期	5,098,529株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	101,127,869株	2020年3月期1Q	101,052,002株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおり電話会議を開催する予定です。当日の説明内容及び質疑応答につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2020年7月31日（金）・・・・アナリスト、機関投資家向け電話会議

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の経営成績に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) セグメント別の説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算の経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期においては、売上高は、化学セグメントを中心に新型コロナウイルスの影響を大きく受け、合成ゴム・電池材料など自動車関連製品の販売数量が減少し、ナイロン・ラクタムなどの販売価格も下落したことから減収となりました。営業利益は、石炭価格下落の効果はあるものの、ナイロン・ラクタムの販売価格下落の影響が大きく減益となり、また営業外損益も持分法投資損益の悪化および受取配当金の減少により減益となったことから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに減少しました。

この結果、当社グループの連結業績は、次のとおりとなりました。

単位：億円

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期①	1,361	△6	△12	△13
前年同期②	1,650	73	77	45
差異①-②	△289	△79	△90	△58
増減率	△17.5%	-	-	-

(2) セグメント別の説明

(売上高)

単位：億円

セグメント	当第1四半期①	前年同期②	差異①-②	増減率
化学	525	745	△219	△29.4%
建設資材	691	754	△62	△8.3%
機械	167	188	△21	△11.5%
その他	7	11	△4	△39.5%
調整額	△31	△49	18	-
合計	1,361	1,650	△289	△17.5%

(営業利益)

単位：億円

セグメント	当第1四半期①	前年同期②	差異①-②	増減率
化学	△27	46	△74	-
建設資材	19	23	△3	△15.8%
機械	2	4	△2	△44.6%
その他	0	1	△0	△68.4%
調整額	△1	△2	1	-
合計	△6	73	△79	-

化学 … 減収減益

■ナイロン・ファイン事業

ラクタム事業は、新型コロナウイルス等の影響を受け原油、ベンゼンなどの市況が下落し販売価格が下落したことから、減収となりました。

ナイロン事業は、ラクタム市況下落にともなう販売価格の下落、および新型コロナウイルスの影響による自動車向け等の需要の減退もあり販売数量が伸び悩んだことから、減収となりました。

工業薬品事業は、アンモニア工場で隔年の定期修理を実施したことにより、生産量・出荷量ともに減少したことから、減収となりました。

ファイン事業は、新型コロナウイルスの影響により特に自動車関連製品を中心に販売数量が減少したことから、減収となりました。

ナイロン・ファイン事業全体としては、アンモニア工場で隔年の定期修理を実施したことに加え、新型コロナウイルスの影響による販売価格の下落等により、減収減益となりました。

■合成ゴム事業は、タイヤ用途を中心に出荷が大幅に減少したことに加え、製品市況が下落したことから、減収減益となりました。

■機能品事業

電池材料事業は、中国市場での競争激化および新型コロナウイルスの影響による自動車向けの需要減退もあり販売数量が減少したことから、減収となりました。

ポリイミド事業は、ディスプレイ向けCOFフィルムの販売数量が堅調に推移し、また有機ELパネル向けワニスの需要が拡大し販売数量が増加したことから、増収となりました。

機能品事業全体としては、電池材料事業の販売不振の影響が大きく、減収減益となりました。

■医薬事業は、自社医薬品・受託医薬品ともに好調に推移した前年同期と比較し出荷が伸び悩んだことから、減収減益となりました。

■化学セグメント全体としては、新型コロナウイルスの影響等による販売数量の減少および販売価格の下落、並びにアンモニア工場の隔年の定期修理実施により、減収減益となりました。

建設資材 … 減収減益

■セメント・生コン事業は、新型コロナウイルスの影響による公共工事の停滞や大手ゼネコンを中心とした工事中断の影響等により出荷が減少したことから、減収となりました。

■カルシア・マグネシア事業は、鉄鋼向けの生石灰および鉄鋼・電力向けマグネシアなどの販売数量が減少したことから、減収となりました。

■エネルギー事業は、石炭の販売価格の下落により減収となりました。

■建設資材セグメント全体としては、原料である石炭価格下落の効果はあるものの、カルシア・マグネシアの販売数量の減少の影響が大きく、減収減益となりました。

機械 … 減収減益

■成形機事業は、自動車産業が厳しい事業環境にあり販売が低調に推移したことから、減収となりました。

■産機事業は、電力会社向け運搬機等の販売堅調により、増収となりました。

■製鋼事業は、原料価格下落に応じて販売価格が下落したことから、減収となりました。

■機械セグメント全体としては、成形機の販売低調および製鋼の販売価格下落の影響が大きく、減収減益となりました。

その他 … 減収減益

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,226	54,171
受取手形及び売掛金	158,140	134,430
商品及び製品	43,171	43,095
仕掛品	21,200	22,543
原材料及び貯蔵品	29,371	30,773
その他	11,353	12,444
貸倒引当金	△505	△498
流動資産合計	303,956	296,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	87,942	88,104
機械装置及び運搬具(純額)	139,844	138,889
土地	76,059	76,197
その他(純額)	26,197	29,568
有形固定資産合計	330,042	332,758
無形固定資産		
のれん	524	535
その他	6,890	6,846
無形固定資産合計	7,414	7,381
投資その他の資産		
投資有価証券	53,326	54,661
その他	32,860	33,577
貸倒引当金	△497	△499
投資その他の資産合計	85,689	87,739
固定資産合計	423,145	427,878
繰延資産	168	207
資産合計	727,269	725,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,620	82,053
短期借入金	43,484	43,466
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,369	1,363
賞与引当金	7,049	10,340
その他の引当金	1,134	1,058
その他	50,680	52,986
流動負債合計	199,336	201,266
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	84,420	83,037
引当金	3,738	1,562
退職給付に係る負債	7,442	7,586
資産除去債務	1,916	1,924
その他	15,970	18,331
固定負債合計	173,486	172,440
負債合計	372,822	373,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	40,300	40,280
利益剰余金	245,980	240,090
自己株式	△12,645	△12,557
株主資本合計	332,070	326,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,984	2,362
繰延ヘッジ損益	9	△143
為替換算調整勘定	2,122	4,365
退職給付に係る調整累計額	△3,790	△3,646
その他の包括利益累計額合計	325	2,938
新株予約権	573	510
非支配株主持分	21,479	21,641
純資産合計	354,447	351,337
負債純資産合計	727,269	725,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	165,058	136,108
売上原価	136,738	117,813
売上総利益	28,320	18,295
販売費及び一般管理費	21,002	18,959
営業利益又は営業損失(△)	7,318	△664
営業外収益		
受取利息	81	56
受取配当金	668	438
受取賃貸料	253	242
負ののれん償却額	5	10
持分法による投資利益	613	7
その他	570	347
営業外収益合計	2,190	1,100
営業外費用		
支払利息	254	224
賃貸費用	163	158
為替差損	330	203
その他	1,024	1,142
営業外費用合計	1,771	1,727
経常利益又は経常損失(△)	7,737	△1,291
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19
負ののれん発生益	—	145
抱合せ株式消滅差益	—	514
特別利益合計	—	678
特別損失		
固定資産処分損	213	181
投資有価証券評価損	263	—
特別損失合計	476	181
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,261	△794
法人税等	2,696	854
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,565	△1,648
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△317
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,541	△1,331

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,565	△1,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△264	359
繰延ヘッジ損益	△472	△152
為替換算調整勘定	△422	3,056
退職給付に係る調整額	17	144
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△119
その他の包括利益合計	△1,162	3,288
四半期包括利益	3,403	1,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,364	1,282
非支配株主に係る四半期包括利益	39	358

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,261	△794
減価償却費	9,089	9,021
負ののれん償却額	△5	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	0
受取利息及び受取配当金	△749	△494
支払利息	254	224
持分法による投資損益(△は益)	△613	△7
固定資産売却損益(△は益)	△16	△5
売上債権の増減額(△は増加)	16,233	25,090
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,096	△2,112
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,775	△12,791
その他	3,032	3,520
小計	19,528	21,642
利息及び配当金の受取額	1,334	1,171
利息の支払額	△238	△198
法人税等の支払額	△5,054	△4,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,570	18,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,063	△7,902
有形固定資産の売却による収入	273	45
投資有価証券の取得による支出	△42	△2
投資有価証券の売却による収入	—	58
関係会社株式の取得による支出	△318	△1,613
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	66
短期貸付金の増減額(△は増加)	12	△236
その他	△100	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,238	△9,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△484	29
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	14,000	—
長期借入れによる収入	2,086	299
長期借入金の返済による支出	△1,985	△1,720
社債の発行による収入	—	9,950
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△8,102	△4,562
非支配株主への配当金の支払額	△320	△196
その他	△150	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,956	3,528
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	438
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	315	12,559
現金及び現金同等物の期首残高	32,295	40,609
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	371
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,610	53,539

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化学	建設資材	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	74,325	71,915	17,985	833	165,058	—	165,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	195	3,540	902	353	4,990	△4,990	—
計	74,520	75,455	18,887	1,186	170,048	△4,990	165,058
セグメント利益 (営業利益)	4,678	2,302	451	136	7,567	△249	7,318

(注1) セグメント利益の調整額△249百万円には、セグメント間取引消去△58百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化学	建設資材	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	52,444	66,824	16,380	460	136,108	—	136,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	2,372	344	258	3,128	△3,128	—
計	52,598	69,196	16,724	718	139,236	△3,128	136,108
セグメント利益又は 損失(△)(営業利 益又は損失(△))	△2,748	1,938	250	43	△517	△147	△664

(注1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△147百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△154百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「化学」において、プレミアム・コンポジット・テクノロジー・ノースアメリカ、インコーポレーテッドの株式を取得し、連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を145百万円計上しております。